

チェック	内容	必須	詳細	ポイント
	接続方法	*	ソフトウェアVPN 日レセクラウド	・VPNに接続している状態でないと日レセが利用できない
	切断方法	*	日レセクラウド ソフトウェアVPN	
	大きく変わる画面について	*	プロフィールと会計が大きく変わる	きりんカルテお試し版 日レセクラウド基本操作マニュアル (https://xirapha.jp/wp-content/uploads/kirinkarteTrial-OrcaBasicManual.pdf) 3-2.主な変更点 (P19~22) の内容を中心に、カルテZEROとORCAの画面を実際にご確認いただく
	患者来院時の流れについて	*		きりんカルテお試し版 日レセクラウド基本操作マニュアル (https://xirapha.jp/wp-content/uploads/kirinkarteTrial-OrcaBasicManual.pdf) 3-1.患者来院時の操作の流れ (P18) の内容
	保険登録	*	社保	・保険者番号を入力した時点で、本人家族等の区別がつくようになる ・被保険者名を直接変更可能である ・補助区分の選択
		*	後期	
	公費登録	*	全国公費：難病／精神通院 等	・負担者番号を入力した時点で、公費の種類が選択されるようになる ・(難病や精神通院の場合) 月上限額の設定
		*	地方公費	・公費の種類の選択は必要 ※これまで通り、ORCA管理機構が提供しているマスタ登録設定ガイド (https://www.orca.med.or.jp/receipt/chihoukouhi/) を参考に選択していただくのは変わらない
			その他：生保／高額療養費 等	
	初再診登録	*	きりんカルテ、ORCAそれぞれに登録が必要	・きりんカルテではラベルとして、ORCAではコストとして登録が必要
	会計処理	*	中途表示からの「追加」	・初再診、診察料に関する加算については日レセクラウドの自動算定を基準とするため、「追加」を行う ※確定してしまうと、初再診料も含めて上書きされてしまう ※労災自賠がある医療機関の場合、労災保険のみの患者に対しては「確定」のみ選択可能である点にご注意ください
		*	時間外加算の付け方 (環境設定、初再診コードの数字)	・カルテから診察料を送信することは今後行われないため、時間外の判断等は日レセクラウドで行う ・環境設定で全ての患者に加算を付けることができる ・初再診料に直接コードを付けることで単独で加算を付けることができる
		*	領収、明細の印刷	・登録を選択すると、プレビューなしでプリンターから印刷されるようになる
	会計修正の流れについて	*		・会計削除の手順 ※流れ自体は、これまでの一体型カルテZEROから変更なし ・再度きりんカルテから「会計処理」 ・中途表示から「追加」
	レセプト	*	作成の流れ (※変わらない)	・これまでと流れは変わらないこと ・ORCA画面の各ボタンの配置について (41データチェック~44総括表・公費請求書)
			明細書	
			請求確認	
			総括表・公費請求書	
			UKEファイル作成	・●●RECEIPTC.UKEの「●●」はなくなる
	日次統計・月次統計	*	日次統計、月次統計の出力	・ORCA画面の各ボタンの配置について (51日次統計、52月次統計) ・これまでにカルテZEROに登録済みの帳票については引き継がれる
	排他制御	*	排他制御削除の手順	・お試し版では確認できない (101システム管理マスタが利用できない) が、ORCAで実施するようになることを伝える ・具体的な操作を確認する場合は、ORCA管理機構のマニュアルを利用
	日レセ、きりんカルテの操作時の注意点	*	データはカルテ→ORCAへの一方通行	・住所や生年月日等、プロフィール>患者情報1タブの内容についてはカルテ側から変更すること ・患者番号の変更はしばらくできなくなる →誤った患者を登録した場合は、テスト患者へ変更し順番として扱っていただく ※今後はカルテ、ORCAそれぞれに変更することで番号変更が可能なるように対応予定
		*	患者番号の変更不可 (カルテZEROからの機能変更)	
		*	新着情報の確認	・更新日を確認し、新しい更新内容があれば確認すること ・メンテナンスに伴うサービス停止のお知らせは確認必須 (緑色の文字は特に重要)
			その他、画面に変更がある機能	・プロフィール>診断病名 非表示 →今後は、カルテ病名欄もしくはORCA22病名で確認
			第三者行為の病名の登録	・22病名で「第三者行為」を設定する際には、該当患者様のカルテを閉じた状態で操作する →カルテを開いた状態で第三者行為の病名を登録し、カルテから病名を編集すると「第三者行為」の設定が外れる ※第三者行為のレセプト作成時には必ず病名を確認する